

令和 2 年 8 月 12 日

奈良県小児科医会
会 員 各 位

奈良県小児科医会
会長 新 家 興

「小児在宅医療に関する人材養成講習会」受講者募集のご案内

平素は医会活動にご協力を賜り、ありがとうございます。

別紙のとおり、厚生労働省「令和2年度 在宅医療関連講師人材養成事業」の一環として「小児在宅医療に関する人材養成講習会」が開催されることになりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、オンデマンド配信による講義と、テレビ会議システムを使用してグループワーク（10月29日(木)14時～17時、奈良県医師会館）が行われることになっております。

つきましては、本会会員の方で参加を希望される方がございましたら、別紙により8月19日(水)までに本会事務局FAX（0744-23-7796）にご回報いただきたくお願い申し上げます。

なお、本講習会の受講者募集のご案内は、県医師会から地区医師会にも送付されています。また、本講習会への参加は、手続き上、都道府県からの推薦が必要となっており、奈良県の推薦枠は医師、行政担当者をあわせて8名以内となっております。参加希望者が8名を超える場合は、奈良県で調整される予定ですのでご了承ください。

(連絡先) 奈良県小児科医会事務局(辰巳)

〒634-8502 橿原市内膳町 5-5-8

TEL 0744-22-8502 FAX 0744-23-7796

奈良県小児科医会 行

(FAX : 0744-23-7796)

小児在宅医療に関する人材養成講習会

令和2年10月29日(木)

奈良県医師会館(橿原市内膳町5-5-8)

氏 名

8月19日(水)までに奈良県小児科医会事務局宛ご回報ください。

令和2年度厚生労働省委託事業
在宅医療関連講師人材養成事業（小児在宅医療分野）
「小児在宅医療に関する人材養成講習会」（後援：日本医師会）
開催要項

1. 日時・場所

令和2年10月5日（月）～31日（土）

オンデマンド配信による講義（登録された参加者のみ受講可能）

令和2年10月29日（木）14：00～17：00

日本医師会館のテレビ会議システムを使用したグループワーク

2. 目的

当該講習会は、平成27年度から継続しており、6年目の本年度の講習会でも、地域で人材育成事業を支えることができる高度人材（小児在宅医療分野）を養成するための講習会を行います。オンデマンドでは基礎的な課題を個人学習していただき、グループワークでは、新型コロナウイルス禍における小児在宅医療を一つの切り口とし、各地域の小児在宅医療の現状を把握し、在宅医療を受けている小児患者をどう支えればいいのかを行政担当者と共に学ぶこととします。それによって、各地域に合わせた、より効果的な人材育成プログラムを受講生が企画できるようになることが目的です。

3. 受講者の要件

小児在宅医療に関する地域の人材育成について、行政と協力し、取り組める医師であって、都道府県の推薦を受けた者とします。

※ 今年度初めて本講習会に参加する場合は、昨年度の講習会資料等を事前に確認した上でご参加ください。

昨年度の講習会資料は厚生労働省ホームページに掲載しています。
「令和元年度小児在宅医療関連講師人材養成事業」を参照ください。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000061944.html>

※ グループワークでの内容等について、講習終了後に主催者が作成する報告書等への掲載をさせて頂く場合がありますので、ご了承下さい。

4. 講習会プログラム

別添のとおりとします。

5. 受講費用

受講費用は無料ですが、グループワークの際の各都道府県の医師会館までの移動にかかる交通費は、各自で手配をお願いします。

6. 本講習会に関するお問い合わせ先

国立成育医療研究センター医療連携・患者支援センター 在宅医療支援室

zaitaku-shien@ncchd.go.jp

I. オンデマンド配信による講義 令和2年10月5日（月）～31日（土）		演者	時間
（必修講義はこれから選びます）			
タイトル			
①	日本医師会の取り組み	松本吉郎先生（日本医師会）	15分
②	総論1-1 小児在宅医療基盤整備に向けた課題	田村正徳先生（埼玉医科大学 小児科客員教授）	30分
③	総論1-2 小児在宅医療に関わる機関・職種	岩本彰太郎先生（三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンター長）	20分
④	総論1-3 医療機関の役割（小児科診療所・在宅診療・後方支援病院・重点施設）	中村知夫先生（成育医療研究センター 在宅診療科診療部長）	30分
⑤	総論1-4 行政の役割（都道府県医療部署・障害部署、保健所、市町村障害部署、保健センター、医師会）	奈倉道明先生（埼玉医科大学 小児科講師）	20分
⑥	総論2 訪問サービスへの役割（相談支援専門員児童・発達支援・放課後デイ・訪問リハビリ小児科）	和野浩先生（医療法人社団実幸会いらはら診療所 在宅医療部長）	20分
⑦	総論3 成人を診る在宅医との連携	和野浩先生（医療法人財団はるたか会理事長）	15分
⑧	支援1 在宅での生活支援	宮田章子先生（さいわいこどもクリニック院長）	15分
⑨	支援2 患者中心の多職種連携	中村知夫先生（成育医療研究センター 在宅診療科診療部長）	15分
⑩	支援3 病院での退院支援	竹本潔先生（大阪発達総合療育センター小児科部長・医務部長）	15分
⑪	支援4 在宅での生活支援～療育施設の役割～	土島智幸先生（医療法人稲生会理事長）	15分
⑫	支援5 在宅の緊急時対応	前田浩利先生（医療法人財団はるたか会理事長）	15分
⑬	支援6 在宅での終末期対応	竹本潔先生（大阪発達総合療育センター小児科部長・医務部長）	20分
⑭	技術1-1 呼吸に関する医療ケア	梶原厚子先生（株式会社スペースなる 代表）	20分
⑮	技術1-2 栄養に関する医療ケア	大山昇一先生（埼玉県済生会川口総合病院小児科 主任部長）	20分
⑯	技術2-1 小児在宅医療における診療報酬	奈倉道明先生（埼玉医科大学 小児科講師）	20分
⑰	技術2-2 制度		

II. 本医師会館のテレビ会議システムを使用したグループワーク（LIVE配信） 令和2年10月29日（木）14：00～17：00

トピックスとして**新型コロナウイルス禍における小児在宅医療**を取り上げます。

- 1) 地域（東京都と地方都市）において生じた問題点
- 2) 学校と病院で生じた問題点
- 3) グループワークを2時間行っていただき、結果を共有する。